



読み聞かせによる

思いやりの種まき

鹿屋小学校 読み聞かせグループ すてっぷ

すてっぷは、鹿屋小学校の保護者を中心に、平成15年5月に発足しました。小学校などでの読み聞かせ活動を通して、子どもの見守りを実践する約10人のボランティア団体です。小学校での週に一度の朝の読み聞かせ活動では、善悪の判断

や、優しい心を育ててもらおうように、残酷な場面があっても隠さず、本が伝えたいことを読んでいきます。また、絵本だけでなく、科学に関する本や紙芝居など、ジャンルを問わずに読み聞かせることで子どもたちの可能性を広げています。



子どもたちに負けない笑顔と明るさを持つ、すてっぷのメンバー。男性の参加も募集中。

すてっぷには、読み聞かせだけでなく、見守りという役目もあります。学校に通うことで、実際に教室内の雰囲気を感じ、直接子どもたちの顔や反応を見ます。フェイスブック等で依頼があれば、幼稚園や病院、図書館等のイベントでも活動します。その際には、人形劇やクイズも行います。使用する道具のほとんどは、自分たちで手作りしたものです。著作権に関する手続きや脚本作りもメンバーで行っています。

メンバーの榎屋智恵美さんは、次のように語ります。「思いやりの種まきです。私も親に読み聞かせしてもらい、見守られて育ったことを思い出します。子どもたちにも同じことをしてあげたい。そして、子どもたちがどのような花を咲かせて、また次の子どもたちに伝えていくのか、楽しみます」



小学校での朝の読み聞かせ。子どもたちは絵本の世界に様々な表情を見せる。悲しい話では、泣き出す子もいる。



手作り人形劇の1コマ(左)。和気あいあいとした楽しい雰囲気が、子どもたちの手作り感謝状(右)からも伝わる。

編集後記

久々に田の神像巡りをして、田の神像の面白さを改めて感じました。庶民の願いによって建てられた田の神像は、周囲の変化をずっと見守ってきました。これかも大事にしたいですね。(前田)

3の3乗から、43,252,003,274,489,856,000 パターンになるらしい、あの立方体パズル。それだけの柔軟さと、パターン数を計算できる頭脳が、広報誌づくりのために欲しい今日この頃です。(原田)

4月から広報担当になりました。読んでいただいた方に、市をより好きになったと言ってもらえるような情報を発信していきたいです。広報誌を代々作られてきた先輩方、御指導お願いします。(櫛下)

お便り&メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報、抽選・賞品引換券の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。